

(i)

$$y_1 - y_3 = \frac{\pi}{4} \frac{1}{x} - \frac{\pi}{4} + 1 - \frac{\pi}{4} (1-x) - 1 = \frac{\pi}{4} \left(x + \frac{1}{x} - 2 \right)$$

$0 < x \leq 1$ のとき、相加平均・相乗平均の関係より $x + \frac{1}{x} \geq 2\sqrt{x \cdot \frac{1}{x}} = 2 \quad \therefore x + \frac{1}{x} - 2 \geq 0$

$y_1 - y_3 \geq 0$ であるから $\therefore y_1 \geq y_3$ 等号成立は、 $x = \frac{1}{x}$ のときであるから $x^2 = 1 \quad \therefore x = 1$

$$f(x) = y_3 - y_2 = \frac{\pi}{4} (1-x) + 1 - \sqrt{2} \cos \frac{\pi}{4} x \text{ とすると } f'(x) = -\frac{\pi}{4} + \frac{\sqrt{2}}{4} \pi \sin \frac{\pi}{4} x = \frac{\sqrt{2}}{4} \pi \left(\sin \frac{\pi}{4} x - \frac{1}{\sqrt{2}} \right)$$

$0 < x \leq 1$ のとき、 $0 < \frac{\pi}{4} x \leq \frac{\pi}{4}$ であるから $0 < \sin \frac{\pi}{4} x \leq \frac{1}{\sqrt{2}} \quad \therefore f'(x) \leq 0$

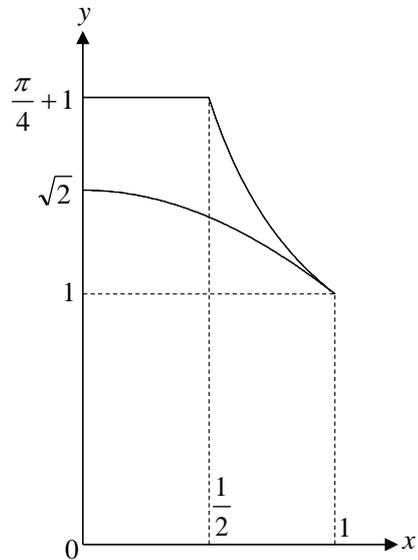
$0 < x \leq 1$ において、 $f(x)$ は単調減少。 $f(1) = 0$ より、 $0 < x \leq 1$ において $f(x) \geq 0$ であるから $y_3 - y_2 \geq 0 \quad \therefore y_3 \geq y_2$ 等号成立は、 $x = 1$ のとき。

以上により、 $0 < x \leq 1$ において、 $y_1 \geq y_3 \geq y_2$ であり、等号は $x = 1$ のときに限り成立する。
2つのグラフは、 $0 < x \leq 1$ の範囲では、 $(1, 1)$ しか交点を持たないことが示された。(証明終)

(ii)

題意の囲まれた部分を図示すると、右図の通り。面積は

$$\begin{aligned} & \int_0^{\frac{1}{2}} \left(\frac{\pi}{4} + 1 \right) dx + \int_{\frac{1}{2}}^1 \left(\frac{\pi}{4} \frac{1}{x} - \frac{\pi}{4} + 1 \right) dx - \sqrt{2} \int_0^1 \cos \frac{\pi}{4} x dx \\ &= \left[\left(\frac{\pi}{4} + 1 \right) x \right]_0^{\frac{1}{2}} + \left[\frac{\pi}{4} \log x + \left(1 - \frac{\pi}{4} \right) x \right]_{\frac{1}{2}}^1 - \frac{4\sqrt{2}}{\pi} \left[\sin \frac{\pi}{4} x \right]_0^1 \\ &= \frac{\pi}{8} + \frac{1}{2} + 1 - \frac{\pi}{4} - \frac{\pi}{4} \log \frac{1}{2} - \left(\frac{1}{2} - \frac{\pi}{8} \right) - \frac{4}{\pi} \\ &= 1 + \frac{\pi}{4} \log 2 - \frac{4}{\pi} \quad \dots\dots (\text{答}) \end{aligned}$$



※ y_1 と y_2 のグラフは、点 $(1, 1)$ で接している。直線 y_3 は、 y_1 と y_2 の共通接線である。

1967 年京大理 6 旧

この容器に水を入れ、水面の高さが h (cm) になったとする。

このとき、水面の半径は \sqrt{h} (cm)、水面の面積は πh (cm²) であるから、

$$\text{容器内の水の体積は } \pi \int_0^h y dy = \pi \left[\frac{y^2}{2} \right]_0^h = \frac{1}{2} \pi h^2 \text{ (cm}^3\text{)}$$

t 秒後の注入速度を $f(t)$ (cm³/sec)、 t 秒後の水面の高さを $h(t)$ (cm) とする。

$$t \text{ 秒後の水の体積は } \int_0^t f(u) du = \frac{1}{2} \pi \{h(t)\}^2$$

$$\text{両辺を } t \text{ で微分すると } f(t) = \pi h(t) \cdot \frac{dh(t)}{dt}$$

ここで、 $\frac{dh(t)}{dt}$ (cm/sec) は、 t 秒後の水面の上昇速度であり、 t^2 に等しい。

$$\frac{dh(t)}{dt} = t^2 \text{ より } h(t) = \frac{1}{3} t^3 + C \quad h(0) = 0 \text{ より } \therefore h(t) = \frac{1}{3} t^3 \quad \therefore f(t) = \pi \cdot \frac{1}{3} t^3 \cdot t^2 = \frac{1}{3} \pi t^5$$

したがって、水の注入速度を、 $\frac{1}{3} \pi t^5$ (cm³/sec) とすればよい。……(答)

